

## 込められた思いを大切に

2月になります。2月の和風名月は如月（きさらぎ）で衣更着（きさらぎ）とも言います。まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する（更に着る）月という由来があるそうです。先週からこの冬1番の大寒波がやってきており、本当に寒い日が続いていますが、まだまだ寒さは厳しいようです。

しかしながら暦のうえでは2月4日が春の始まりを表す「立春」です。昔から二十四節気（にじゅうしせっき）の1番目として大切にされてきた日です。そしてその前日が冬から春への季節の分かれ目「節分」です。古来より、季節の変わり目にはいつもと違うことが起こったり、予期せぬ出来事に見舞われたりしやすいとされてきました。そこで、立春となる前日に悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願って節分の行事がおこなわれるようになりました。今年もこの日に豆まきなど、邪気払いの行事をされるご家庭も多いのではないのでしょうか。

先日1年生は、昔ながらの遊びについて、老人クラブの方々と交流会をもちました。あやとり、おはじき、めんこ、お手玉、こま回し、折り紙、紙飛行機、竹とんぼとばしを教えていただきました。初めて経験する子どもも多くいましたが、うまくできた時には子どもたちは本当に素敵な笑顔を見せてくれました。その様子を老人クラブの方々も一緒に喜んでいただき、体育館はとても温かな雰囲気になりました。交流会の最後には「とても楽しかったです。もっと遊びたいです。」とたくさん子どもたちが自分の思いを伝えました。世代間の交流を通して昔ながらの遊び（文化）を継承していくという行事を今後も続けていきたいと思えます。老人クラブの皆様、誠にありがとうございました。



伝統文化ではありませんが、1月には語り継いでいくべき出来事があります。阪神・淡路大震災です。今年度は1月16日に地震対応の避難訓練を行いました。今回は掃除の時間に地震発生時刻を設定しました。「自分の命を守るために適切な行動ができ、また速やかな避難行動ができる。」ことを目的として実施しました。教室にいれば自分の机の下に隠れ、地震がおさまるのを待ちますが、近くに隠れる場所がない場合はどうするか、一人である時はどうするかなど様々な場合を考えなければなりません。子どもたちは事前に学習したことを活かし「頭を守る」「低い姿勢をとる」「崩れたり倒れたりするものから離れる」など考えて行動できていました。地震はいつ起こるかわかりません。登下校中、放課後、休みの日、寝ている時、様々な場面でよりよく行動できる力を、訓練を通して身につけさせたいと考えます。



日本には昔から伝わる行事や文化等が数多くあります。AIの発展、グローバル社会等、目まぐるしく変わる現代だからこそ行事や文化等に込められた思いや願いも大切にしていきたいと思えます。2月も子どもたち一人一人が健やかに成長し、笑顔で学校生活が過ごせるよう、教職員一同精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

広野小学校 校長 北村 嘉和